

多世代タウンミーティング開催結果

日 時：令和 7 年 9 月 28 日（日）14：00～15：40

場 所：下市町コミュニティセンター

対象地区（大字）：阿知賀、小路

参加人数：32 名（地区内 31 名、地区外 1 名）

20 代以下	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上
0 名	0 名	0 名	3 名	12 名	17 名

テ ー マ：防災について

概 要：資料動画を視聴したあと、8 人ずつのグループに分かれて南海トラフ巨大地震が発生した時を想定し、「自助」・「共助」・「公助」それぞれについて何が心配か、何ができるか、何が必要か等についてご意見をいただきました。

いただいた主な意見

自助について

- ・水、食料等の備蓄について（50 代、60 代、70 代、80 代）
- ・お風呂に水をためておく（60 代）
- ・家具の転倒防止（50 代、80 代）
- ・寝室に背の高いものを置かない（60 代）
- ・寝室にスリッパの準備（60 代）
- ・家族で寝ている場所を共有しておく（60 代）
- ・停電時の対策（50 代、60 代）
- ・耐震診断をして家の状況を把握しておく（70 代）
- ・情報の収集（60 代）
- ・タバコは吸わない（60 代）
- ・何かあった時に動けるよう自分の中で意識づけしておく（70 代）

共助について

- ・地区での備蓄倉庫の整備（50 代、60 代、70 代、80 代）
- ・チェーンソー、トビ等助の道具を自治会で用意しておく（50 代）
- ・発電機の用意（50 代、70 代）
- ・近隣の安否確認（70 代）
- ・近所の人の寝ている部屋を共有しておく（80 代）
- ・サロン等を通じてお年寄りのことを把握しておく（60 代）
- ・勤務先を把握しておく（60 代）
- ・区ごとに大規模災害のことを考えておく（60 代）

公助について

- ・備蓄品（アルファ米、水等）の配布および配布に関する周知（60 代、70 代）
- ・町有地への備蓄庫の設置（60 代）
- ・どれだけ備蓄しておけば良いのか示してほしい（60 代）
- ・河川、ため池、道路の管理（60 代、80 代）
- ・避難場所の確保、周知（60 代、70 代）
- ・施設の耐震化（60 代）
- ・自宅でできる準備、持ち出し品などのチェックリストの配布（70 代）
- ・広報に防災に関することを定期的に掲載する（70 代）
- ・緊急通報装置の設置拡大（70 代）
- ・要援護者台帳の更新年数の短縮（60 代）
- ・二拠点生活をする関係人口の増加（60 代）
- ・宿泊施設、コンテナホテル等の誘致（50 代）
- ・オフロードバイクの確保（60 代）
- ・ドローン操作できる職員の育成（60 代）
- ・区長、総代のための引継ぎマニュアルの作成（70 代）
- ・全半壊等の診断を素早く行うため、住民の中から家屋診断士を登録する（70 代）
- ・町としての指針策定